

公表 事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

| | | | |
|----------------|------------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援センター おひさま | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年11月8日～2025年11月30日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 28名 | (回答者数) 13名 |
| ○従事者評価実施期間 | 2025年11月1日～2025年11月15日 | | |
| ○従業者評価有効回数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 8名 |
| ○訪問先施設評価実施機関 | 2025年5月15日～2025年11月21日 | | |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 24名 | (回答者数) 22名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年12月26日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|-------------------------------------|
| 1 | ・保育士や療法士、看護師など多職種で支援している為、それぞれの視点から助言ができる。 | ・個別リハビリのある児に対しては、担当療法士も一緒に訪問し、助言を行っている。 | ・訪問前にカンファレンスを実施し、現在の状況や課題をまとめておく。 |
| 2 | ・事前アンケートを作成し、園での様子や気になる姿、困っていること、希望する専門的支援について把握することができる。 | ・アンケートに沿った回答ができるよう事前に準備をして訪問している。 | ・訪問前のカンファレンスで検討し、回答を用意する。 |
| 3 | ・希望する保護者に対して全て訪問を実施することができた(複数回も含む)。 | ・毎回の利用時や定期的な懇談時に保護者とコミュニケーションを取り、希望があれば、すぐに対応している。 | ・契約時や懇談時に保育所等訪問の必要性や意義について、丁寧に説明する。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|------------------------------|---|
| 1 | ・訪問支援に行く職員の経験値に差がある。 | ・訪問支援について事業所内で話し合う時間が持っていない。 | ・経験を積むことと、的確な助言や課題の抽出ができるよう事業所内での学習会を行う。 ・事前カンファレンスを行うことで、保護者や児についての情報を整理する。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |